

海外トピック  
オ三号



昭和二年九月五日

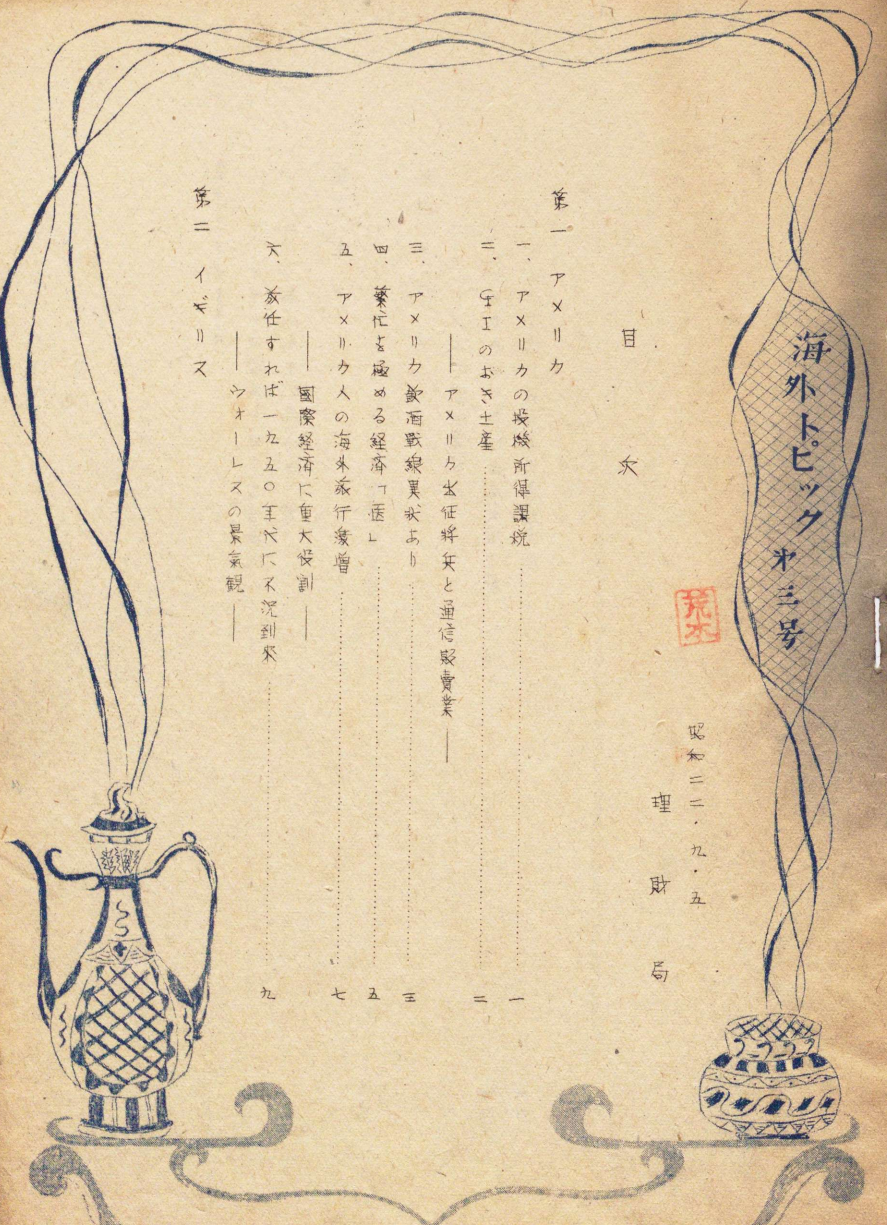
理財局

目次

第一 アメリカ

- 一、アメリカの戦後所得課税……………一
- 二、CPIのおよび土産……………二
- アメリカ水征将兵と通信販賣業——
- 三、アメリカの飲酒戦後異状あり……………三
- 四、業に感ぜらるる経済「症」……………五
- 五、アメリカ人の海外旅行急増……………七
- 国際経済に重大役割——
- 六、委任すれば一九五〇年までに完成到来……………九
- ショールームの景観観——

第二 イギリス





第二 イギリス

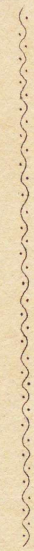
- 一、イギリス國民の耐乏生活變化……………一四
- 二、「海の女王」座のその後……………一七

第三 ドイツ

- 一、インフレーションは死者をも脅かす……………一七

第四 その他

- 一、ルーブルの闇相場下る……………一八
- 二、アメリカとソ聯の生活水準比較……………一九
- 三、五〇年後には世界的食糧危機……………二〇



第一 アメリカ

一 アメリカの娯樂所得課税

賭博や株相場の儲けを調査するのに、内國稅務局は本もて所得稅申告書による。職業的な賭博師や相場師は普通用として、かなり正確な申告をするものである。



これは賭をする人間は本来正直だといふせいもあるが、所得稅の脱税が重なるに嚴重な犯罪と課せられるからである。

寄付者には徴收した稅額の一割の報酬が與えられる規定だが、報酬目當りの寄付は稀で、大抵はその餘り、不満をもつた産人か、金廻りのよいのせねたも親類や金所の人から寄付がくる。寄付者は匿名が多い。

競馬の儲けを調べるには、新聞記者から競馬くじや賭けの大口資金獲得者に目をつける。新聞の競馬欄の無意味な部分にも注意する。銀行の餘剰をしたり宴會に大金を費したりする人々の名前が新聞に出ると、首尾はさういふ人たちの由告書を調べ、前年頃の由告所得が少く、場合には調査を命ずる。

一時的納稅者に嫌疑がかけると廣く調査網が張られる。株相場師の場合には仲買店や銀行が調べられ、納稅者の生活振りについて證據が集められる。銀行や仲買店は普通改帳に協力するが、それがあま



庄おうとする場合、昔はその記録を強制提出させる権限をもつてゐる。

(ニユース・レジュウ 五・一五)

二、G I のおき土産

——アメリカ水征将兵と通信販賣業——

海外から帰還するアメリカの将兵がそれぞれの水征地へ發してくるおき土産が、アメリカ輸水産業振興の一助をなしているという説、おき土産とは通信販賣の見本カタログである。

ワシントンの陸軍省は、水征将兵のホームシック慰安業の一つとして全國の通信販賣業者にその見本カタログを出来るだけ多く海外の水征将兵のもとへ送るように依頼した。この依頼を受けた業者は、はじめはほとんど商賣氣を離れ、陸軍省の政策に協力するといふ見地からカタログを送りはじめた。ところが、これが意味な反響をもちたらし、國策に協力すると同時に自分たちの商賣も大いに繁昌するといふ、この上まなく命令のいひ託になつた。

ホームシックにかかつた水征将兵が故國の奢りに接しようとして、本國にゐる頃にはよまり見向きもしなかつたようなこれらのカタログをむき取り讀んだのは、いふまでもない。讀めば購買欲の起さるゝのも當然。アメリカの通信販賣業に最も大きな利益をもちたらしめてゐるのは、この水征将兵からの注文ではない。それ以外に彼らはこれら将兵のおかげで海外に極めて將來性のある新市場が開けてゐる、といふのは、カタログを受取つた将兵たちが、いよいよよなつかしい故國へ引揚がる時に、もう役にたたない部屋のカタログをもとへ發してくるのは當然である。アメリカへ帰つたら最

新のカタログが容易に手に入るからだ。あとへ發されたカタログは自然土産の人々の手に渡されてゆくことになる。

アメリカ最大の通信販賣会社シアリス・ロバック會社當局の語るところによると、同じ洋銀金カタリカナル、マニラ、東京、香港、ローマ、ブレーメン等々從來同社の顧客の全くなかつた世界各地から、おびただしい注文を發してゐる。これらの注文のうちにはアメリカ将兵からのものも並んで、明らかにそれら地域の居民からの注文と思はれるものが非常に多い。戦災を受けた各國民が自國では手に入ることのできない品物をアメリカに求めようとするのは當然だ。これによつて、從來まつばら國內市場だけを相手にしてゐたアメリカの通信販賣業も、全く新しい確固たる市場を世界各地に築きあげてゐる。そして目下最も注文の多い品物は靴と男物の服にワイシャツ、これに續いて着音機、ラジオ、ライディング・ペーパー、ペンなどである。(U・P)

三、アメリカ飲酒戦線異状あり

景氣の回復を反映してアメリカの酒類販賣業が異常な不況に見舞われてゐる。アメリカ國民は突然、酒に對する欲望を忘れてしまつたかの如く、このバーもがら空きで、仕事の本バーテンダーが主よくびそかみしめてゐる姿が至るところで見受けられる。調査によれば場所によつて酒の販賣量が五〇%も減つてしまつたところもある。この原因は果して何か、酒類販賣業者、バーの経営者、税務所の役人など關係者が口を揃えていふところはない。



「カゴ」の又の反抗してある。

この「カゴ」の又の反抗とは何か、シカゴ州酒類統制委員長の J. H. ブュッス氏によれば、それは若く「一級大衆の懐がよたれたくない」ということである。業者側でも、この不況の最大原因は一級大衆が収入の大部分を娯楽の購入に用けるに在り、娯楽の場合、酒類が贅澤品と見られるからである。これを認めると、一級市民の購買力は戦争中に半に落ちることの出来なかつた品物、たとえばナイロン、自動車、家庭用品などに向けられてあり、これら酒類に對する「反抗」となつて現われているのだといつてゐる。

現在までのところ、明鏡を餘儀なくされたバーの数は比較的少ないが、その前途は必ずしも暗澹たるものである。デトロイト市では一週間に四、五晩しか営業してゐないバーがたゞさんある。シカゴ市では去る五月に営業期限が満期となつたバーのうちで再申請をしないものは多数に上つた。酒類販賣業不振の前觸れはナイトクラブに真先に訪れた。この現象はニューヨーク、シカゴその他大都市ですらに本年の秋にめから現われていたが、最近シカゴのビスマーク・ホテルは全貸運本を除いてはバーでダンスやその他の催し物を中止すると発表した。さらば多くの大都市のバー経営者の報告によれば、娯楽高價な酒類を注文してゐたお客たちも最近ではビールしか注文しなくなつたといつてゐる。これは P. 通信社がアメリカの大都市について調査した酒不況の現況である。

ニューヨーク—ニューヨーク州の一九四六年二月の酒類消費額は二億二千万の四入ガロンに上つたが、今年の三月には一億八千萬五入ガロンに落ちた。ちよび及んで本年は酒の消費額が暴落を呈した年である。

シカゴ—三月には酒類収入が一億に四二・五%も減少した。この反面、シカゴ市のバーは、前月の約六〇%も増大することになつてゐる。

ワシントン—香煙田の収入増の影響高は昨年三月の次に一割六〇%の三億九千から今年の三月には五十二割〇%の三億八千九百と一・三%も減少した。業者の報告によつて見れば、その最大原因は生計費の形勢で、酒のような娯樂品に對する購買力がたゞつたことである。

サン・フランシスコ—本年二月のカリフォルニア州における酒類消費額は一年前より五〇%も減少した。たとえばロサンゼルスでは九三萬八千三百一十ガロンから五三萬四千七百七十三ガロンに落ちた。

四、業況を極める経済「困」

カリフォルニア・ストライクを團長とするアメリカ経済「困」の一團は日本産業界を診察中であるが、アメリカ方面も、最近、経済「困」が非常に業況を急悪くする。これら再興家はマネー・ピクチャー・コンプレックスとして知られており、この状況を「コスト」を果敢として打ちつとめる会社の代表者達で組織を組んでゐるといふ。

どうして「困」、かくコストに對する關心がたゞまつたのであるのか、或る諸名がマネー・ピクチャー・コンプレックスは——

現在、生産コストは暴落を來してゐる。したがつて、企業もしきりに行々、削減せざるを得ないやうな二と



なれば、重大な事態が生ずるであろう。と。  
或る重工業者がブーズ・アレン・ハミルトン商會の事務所を訪れて、どうしたら休業を引締めるかについて尋ねた。これに對し同社スポークスマンがいろいろとこころによると――

おれわれは彼にこう告げた。貴社は戦時の非能率累積にあざわいておられる――と。この会社は注文を受取ると二五大通のコッローを作るが、実際にはその四四%しか売つていない。工場の門は戦時同様厳重に警護されているが、今は何もかくすほどのものはない。われわれは二八名の門衛を併せ、一カ年八萬五千ドル節約する方法を示してやつた。彼の製品に標準型の部品を賣つて、部分品に對する全経費を四〇%節約できる事實を證明してやつた。

このマネージメント・エンジニアの費用は決して安いものではない。その仕事に携わつてゐる技師一人について一日五ドルから一五〇ドルとられる。アメリカ最大の製鋼会社であるユージン・スチール会社の如きは二カ年間にこのために總額一五〇萬ドルを費したといふ。

ではどうしたらマネージメント・エンジニアになれるか。或る人々は正規の技術教育を受けたうえ、技師長なり生産監督の副社長をやつたりして、實際の経験を伴つてゐるといふし、また或る人は何でも仕事をやろうと思えば一〇年の實際経験が必要だといつてゐる。

アメリカには、今日、約一萬五千の経済相談会社がある。戦前の約二十に比べてこのように急激に増加したのは、その需要の多いことを示す。  
なお最近これに関連して、製造業者が單位コストを引下げるため採用するに至つたのは獎勵金制度である。この最もよい例は或る製鋼会社で、この会社では割着金制度を採用することによつて、

三

直接労働コストを一トン當り二六%引下げ、生産を一カ月五〇%以上も増加することが出来たといふ。もちろん、これもマネージメント・エンジニアの働きに依つたものである。

一方、或る荷袋製造業は現在全能力で營業してあり、需要も増加しているので、工場を増設しようといふことになつた。これが調査を依頼されたフォード・ベーカー・デイヴィス社では次のように勧告した。「新工場を作るだけの需要は充分ある。しかし運賃が高くなつてゐるから、新工場はいまの工場地域よりもむしろ原料工場の近くに作るべきである」と。

(ツォール・ストリート・ジャーナル 五・二二)

五、アメリカ人の海外旅行激増  
―― 國際經濟下に重大役割 ――

國務省の旅行統計の発表によれば、去る六月三〇日に終つた一年間にアメリカ人の海外旅行客の数は未曾有の記録を示したが、本年度はさらにこれを上まあるおびただしい海外旅行客の増加が、この夏の旅行シーズンだけでもヨーロッパへ旅行するアメリカ人の数は七割を突破するのではなからうかと見られてゐる。

アメリカ人の海外旅行の目的は種々雑多である。商賈、娯楽、健康、知識の探問、慈善、國家會議その他の催し物への出席等々だが、もちろん観光遊山も目的とする者も非常に多く、また戦争中海外に征伐する兵士と結婚する兵士のほか、除隊兵の數も意外に多い。現在アメリカ人の海外旅行には各種の制限が附され、特に外地での食糧と宿泊施設との不足が一番大きな影響を與えてゐるが



これは今後次第に熟知する見込みで、これととも海峽軍艦のアメリカ人の数は一層増加するだろう。

アメリカ人が現在派兵して出かけられる外地は、アメリカの海外領土をまじめイギリス東西インド諸島、その他島嶼、メキシコ以下南アメリカ諸國の諸カ國、カナダなどだが、國務會は西半球に限り何らの制限をも附せず派兵を自由に發行してゐる。東半球ではドイツ、オーストリア、日本、朝鮮の四方國には陸軍警備の許可を出せば派兵は發行してゐる。一方、ユーゴスラヴィヤに對しては國內不安といふ特殊事情から、現在のところ派兵の下令を一時的に止めてゐる。またブルガリア、ルーマニア、ハンガリのバルカン三國々の派兵にはこれら諸國の連合國管理委員會の許可を要する。然しこれらなきに、その他の諸國に對しては派兵の發行は原則的に自由だが、右の諸國の際の際、領土の地空軍および派兵地の宿泊施設が確實に確保されるとの證明を出す必要がある。これに順應して國務會は海外派兵者に對して、

西半球以外の海外各地は目下戦災から復興の途上により、いまだ未だ深刻な食糧および住宅の不足に悩んでおり、この事態を熟知して行かないと旅行先で非常な苦難をきたさうとされるばかりでなく、旅行者自身も大変な苦難にふくことになる。

この警告を悉してゐるが、現在大部分の海外運輸アメリカ人は水陸前自らの倉庫その他を旅行先に送つておくのが普通である。現に去る七月二十四日フランスマ軍附かれる世界ボーイズスカウト大會に出席するためアメリカを出發した一二〇〇名の少年軍員は、その金貨金部を甲意して守つた。

これらのアメリカ旅行者が國際運送の上で更なる苦難は懸念すべきでない。運送との苦難下による

各國を除いて、ヨーロッパ諸國はいずれもアメリカ人の誘致に懸命になつてゐるが、これはこれら旅行者が落して行く金で材湯にひんしてゐるドル貨を補充しようとしてゐるからである。最近又シエーデンとデンマークとがアメリカ人に對して査察手續を廢止したが、ノルウエーも近くこの例にならおうとしてゐるようだ。一方、アメリカ當局もこれには一役買つてゐる。例えば、オーストリアに對してはその復讐を援助する一策として、七月一日から九日一五日まで同國の音樂シスターズにアメリカ人の自由な旅行を認める除外例を設けた。

(U・P)

六、旅行すれば一九五〇年代に不況到来

—— ユー・Pの 見解 ——

マル・エンパロイメント（完全雇用）といふことはアメリカ経済政策の目標であり、この目標達成のため、一九四六年雇用法ができてゐるからである。そして現在のところ六千萬人雇用がその一環の具體的目標となつてゐる。

ところで、國務會最近の発表によれば、アメリカの雇用数は今や六千萬以上に達してゐるとのことであり、アメリカの諸新聞はこの好景氣に異常な満天の意を表してゐる。しかしアメリカ現在の好景氣が幾時なものであるかどうかに對しては異説がある。民主黨左派の大立物ハンリー・ウオーレンなどもその一人である。彼は、

現在雇用数が六千萬以上に上つてゐるとの國務會の発表には私は極めて疑念してゐる。しかし一



九五の年代初期を展望すれば、そこには通貨から遙かに遠いものがある。私は現在のインフレーションの反動が来ると思う、と。

ウォーレスによれば「アメリカの好景業には何らその原因を説明するものがない、」物價は多くの市民にとつて千の屈かないところまで騰つてゐる。また海外におけるドル不足は、現在お好景業を認識してゐる資本財工業に對して重大な脅威となつてゐる。氏によれば、

・國民所得、總算銀額、一時閉鎖中、その他統計は資料に見えないが、住宅、鐵物類、ラジオ、多くの家庭用車等はすでに不況状態にある。

と云ふ、そして氏は次のように力説してゐる。

現在の「好景業」(ブーム)に或る強靱性を認める人々は、一九二九年に「われわれは好景業(プロスペリテイ)の金からは救われようにはなされることのできる」と主張した人々であることとを忘れてはならない。彼らは一九三〇年代に不均等政策は混迷を意味すると力説した同じ理論家であり、六十萬圓用は實現不可能と主張した連中である。彼らは一カ年前に、消費者を保護するにば物價管理より「自由」市場の方が有利であると述べてゐた連中である。

ウォーレスはさらに續けて、

私は一九四八年に不況が来るとはいふない。現在の徴候ではブームはまだ増大するであろう。経済的警告はむづかしいが、しかしもし警告を請はなければ一九五〇年代の初めには大きな不況が起るであらう。

ロシヤと全世界の、マルキストはアメリカの經濟恐慌を伴つてゐる。ところがアメリカ現在のコ

ー又は、資本主義經濟に不況は不可避免、たゞその程度を控へてゐる。さきの議會はアメリカ經濟の基本的必要に對する善くべき原案を提出した。經濟統制をほとんど全部撤廃し、労働組合を弱体化し、大統領經濟諮問委員會の救済を建設的方策の専断に用ひえなかつた。これらのことは一九三三年「ローズアール」がホワイトハウスを去るとともに遂に消したその昔夢を再現しようとする意図による。しかしインフレーション、連綿とその反動を防止する可能性が全然なくなつた譯ではない。次の希望としては、必ずや有女院院に對する改善案と、必要最低限の國內統制を考慮し、それがために今後特別議會の開催を要するものと見られることである。議會の政策がハッキリすれば其議の前途に對する見通しもハッキリして来るであらう。

( ニューレパブリック、七・二八 )





## 第二 イギリス

### 一、イギリスの耐乏生活強化

△ アメリカ映画が見られなくなる

イギリスでは今年の冬、近年珍らしい大雪のため、米の輸送がとまり、電力の大不足を来し、火の氣の多い部屋でふるえながら燭燭を灯して仕暮をするという憂鬱時代の生活を餘儀なくされた。そのためイギリス國民は國家の經濟危機が愈々深刻化してきて今後一層又じま耐乏生活を迫られるまいとしてゐる。アトリー首相は、八月六日下院の危機對策の一般討論で、現下の經濟危機を「第二のイギリス戰」に例えて、全國民に對して「より少く喰ひ、より多く働く」耐乏生活の強化を要求した。イギリス國民は今後アメリカ映画をさえ餘り見られなくなるかも知れない。それはドルトンが、七日下院でドル貨不足に對する苦肉の策として外國映画の輸入税は一次五ペンスでよつたのを止めて、未開の大課税を發表したからだ。今までは外國映画の輸入税は一次五ペンスでよつたのを止めて、その代りに外國映画のイギリスにおける総賣高の七割五分を税金として、まき上げるというのである。甚だアメリカ映画は毎年平均一億五千万ドル賣にして四億ドルをイギリスで稼いでいた。そのうちから宣傳費、税金、興行費その他の雜費を差引いて手取り一七〇〇一八〇〇萬ポンド、即ち六八〇〇萬ドルから七二〇〇萬ドル位になつた。イギリスは血の出るような苦しいドル資金からこれだけアメリカの映画會社に支拂つてゐた。ところが、入庫の新税でその四分の三は税金と

してイギリスの大蔵省にとられてしまふことになる。これはアメリカの映画製作者會社にとつては大打撃である。ハリウッドは「安政的」大課税だといつて憤慨してゐる。

イギリスの興行界では、アメリカは恐らくイギリス市場へフィルムを送らないようになり、その結果イギリスの映画會社の大部は閉鎖のやむなきに至るかも知れないといつてゐる。まよ閉鎖とまではいふなくとも、イギリス國民はイギリスの映画とせい、アメリカ映画の差し控して耐乏生活をしなければならないとみられてゐる。昔を思えば、大イギリス帝國の國民も應分苦ぢられたものではある。

△ 旅行にはタオル、毛織持参

イギリス貿易相シルソンは八月五日下院で、今後輸入の削減で物資は愈々不足してくるから、避暑地への旅行には「必ず手拭と毛織を持参すること、タオルではお湯は使ませぬし、つぎの着た服布に乾かすべからずとせん」と注意されても怒らぬ、と警告した。しかし貿易相は「だが、ホテルとレストランのお客は鄭重な要求と値上げの理由の眼前だけは期待する権利がある」と諾諾と交えて緊要した下院をドツと交わせた。

△ 旅行資金の切下

イギリス大蔵省は八月七日外債節約の一生段として國民の海外休暇旅行資金を従来十四カ月に一人當り七五ポンドだつたのを、今後一ニカ月三五ポンドに減らすと發表した。イギリス人が昨年中海外休暇旅行に使つた金は約一五〇〇萬ポンドだつた。この外、所謂商業旅行に使つたのが九〇〇萬ポンドあるが、これは商業には休暇旅行的が多し、この外、まぐりを合せたら相當金額に達する。



今年は毎週英佛海峽を渡ってヨーロッパ大陸へ旅行する人の数が平均五萬人だつたといふから、この分だとイギリスの旅行者がヨーロッパ大陸へ送る金は毎年一〇〇〇萬ポンドは多くなつたといふとみられてゐる。

そこで今度の切下げとなつたが、大抵有では所謂商業旅行に思召やレディー・フレンドを伴書といふ名目で伴れて行くのを喰ひとめる多業はなつかと思案投資である。イギリス人の休暇旅行先はバルモール、スイスが一番多く、その次がフランスだが、イギリスの旅行資金切下げでフランスの観光事業が衰へる損失は一年七〇〇萬ポンドと見積られてゐる。二度の大戦で中立を維持できたイギリスはイギリス人旅行客のオアシスで、イギリスで五ポンドもする時計がスイスでは一ポンド位で買えるから、懸案と金儲けの二鳥を狙つて行く旅行客の多いのも相違ないといふ話だ。

(ロイター 七・二七)

二、コングの女王陛下のその後

貿易再開でわが國民の眼はふたたび世界の海運に向けられるに至つたが、曾ての世界の「海の女王」状どうなつたか。

北ドイツ・ロイドの「ゴブレーメン」號は大戦の途まつた四ヶ月前の一九三九年八月三〇日にニューヨーク港を逃げ出した。大西洋に眼を張るイギリス海軍をまんまとまいて、外より傷一つおあるので九月六日、ムルマンスク(ノルウェー)の中立港に降りた。その後同船はノルウェーの海岸を抜けて、ブレイメルハーフェン(ドイツ)に無事たどり着いたが、一九四一年三月

四五

八月普通の火事で焼けてしまつた。「ゴブレーメン」は豪華客船のうちで大西洋を五日以内で横断した最初の船であつた。

次がフランスの「コノルマンディ」號。この最後は「ゴブレーメン」と同様カリビコイックなものでなかつた。「ムツソリー」御自慢の「コレックスト」と「コンテ・デイ・サジオイア」はイギリス空軍の「えじ」とあつて、アドリア海で果てた。まつとも我々はドイツ空軍機が襲つてやつつたといふ説もある。

戦前あつた五萬トン以上の巨艦七隻のうち現在生き延びてゐるのはただの三隻だけである。イギリスの「クウシーン・エリザベス」は戦前一年、戦後初めて有様客室を満載して大西洋を横切つた。「クウシーン・メリー」は軍輸送船のお勤めもすんで、改装中であるが、今夏末頃からサザン・パトーン・ニュートヨーク線路に復送する筈である。北ドイツ・ロイドの所屬だつた「コイロー」は改装結成フランスに賠償にとられる見込みだが、現在バル・アーブルで半ば準備を仕立てゐる。しかし來生にあらば「コリバル」もと看殺を食へて就航するものと見られる。

これらより少し小さい船は、ドイツの場合一度を除いて全部損傷し、イタリー船も四隻以外は同様の運命におちつた。イコーナード汽船も大西洋横断船一七隻のうち一三隻を失つたが、三萬六千トンの「コモレタニマル」號は生き残らえ、まる四月から復航した。

カナディアン・パシフィックの「コエンブレス・オブ・ブリテン」號はドイツ飛行機のため大西洋で致命したが、フランスの「コイル・ド・フランス」は軍輸送船の使命を遂げて、目下サン・ナゼールで改装中である。アメリカ船で現在北大西洋に就航してゐるのは「コアメリカ」號のみである。

一四



總じて、一九三九年には約七〇隻が北大西洋航路に就き、約七萬の噸を輸送能力を充つてゐたが、  
現在では、十一隻、一萬名未満の輸送能力を有するに過ぎない。そして現在のスウェーデンと、  
北大西洋航路（東航または西航）は輸送能力は週平均四千名である。戦前は三萬名の能力を充つて  
ゐた。これに對して飛行機の輸送能力は平均週三千名である。

（フォーチュン誌 七月號）



### 第三 ドイツ

一、インフレは死者をも脅かす

ドイツでは死亡率の増加と木材不足のために棺が不足して来たが、  
アメリカ軍占领地域のフルダ市の葬儀屋は死者の盛衰を言はず、棺も  
節約になる新しい埋葬方法を発見した。

それは萬年棺の發明である。この萬年棺は墓穴へ下すと蓋が外れて死体が地面に置かれる仕掛だ  
から、その後で棺は引上げられて次のお墓に用立てられる譯である。

ドイツでは墓地も不足にあつた。というのは通貨をまつてゐて買はずに物のなほドイツ人達  
が、墓地が割當で無いのを目をつけて、好きな段落として買つるからである。

（ニューヨーク・タイムズ 四・一七）







現在ですら食糧増産の日本人にはまだ細い筈だが、アメリカの食糧問題の専門家の言では、世界の人口が今の割合で増加して行くと、五〇年後には人類は飢饉に直面しなければならぬといふ。戦後の世界的食糧不足の多きは、現にわれわれ敗戦國は勿論のこと、我々國たるイギリスやフランスでも戦前中よりもひどい食糧不足に悩んでおり、まさしく人類の半数以上は不足を抱えて暮らしている状態だろう。現在のところでは既述と食糧の問題さえ解決がつかば世界の人口の十分の食糧を確保される世界の土地はほとんどいわれてゐる。

ところが、人口が現在の割合をふえて行くと、五〇年後には人類は十分な食糧即ち穀類と牛馬豚等とを確保できずとした時に生命を預け以上の食糧は供給できなくなるといふのである。肉と牛乳と卵と牛乳のような栄養価値の多い食物は餘り食べなくなるといふ。細い専門家の意見である。

それは人口の増加で、食糧生産に使用できる土地が来なくなるからで、一エーカーの土地を穀物の生産に使用すれば食肉の生産はなお栽培に使用した場合は十倍の人間を養ふといふから、女性を養ふに消費するものは此を割引られなくなる筈である。一つとも色々な工夫でこゝろを養ふのを防止すると、これを運送させることはより難いから、全人類に十分健康を深らうとするに於て食糧を確保するには、食糧に用いる大衆の食料と研究が必要だといわれる。これは今まで誰も手をつけたことのなき大仕事である。

現在食糧の豊かなアメリカを以て、食糧増産の十分な食糧を占めてゐる者は國民の四分の一に過ぎない。人口の多い印度や中国に至っては、飢死と栄養失調による病氣は珍らしいことではない。國際連合の食糧農業機構では一九六〇年までに世界の人口に十分の食糧を確保するに於ては、食糧とどれは増産すべきかの調査を行っているが、ある専門家の理想では一九六〇年にはアメリカの人口は現在の農耕法によつてアメリカの養ひうる最大限度たる一億六千萬人に達するだろうといわれている。歴史の経験によれば、人類は必ずしも一定の率で増加してゐないといふが、それにしては印度や中国のよう食糧は食糧の上から大なる増産を要求してゐる。農業の機械化、灌漑施設の改善、二

主女の工夫等で農作物の増収もよる程度は可能だろうし、食糧の加工及び貯蔵法の改良と土を田にする（くる所諸水生産物の発達も考えられるが、もっと革命的な方法が見えられな、限り、五〇年よるいは一〇〇年後には世界的な食糧危機がくるだろうと専門家はみてゐる。

(A・P) (A・P)



